

岐阜労働局第13次労働災害防止推進計画の目標と進捗状況(令和4年確定値)

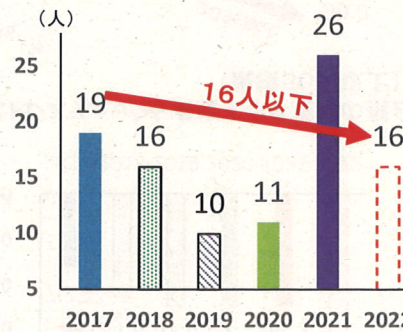
第13次労働災害防止推進計画の目標(岐阜労働局)

計画期間:2018年4月1日~2023年3月31日

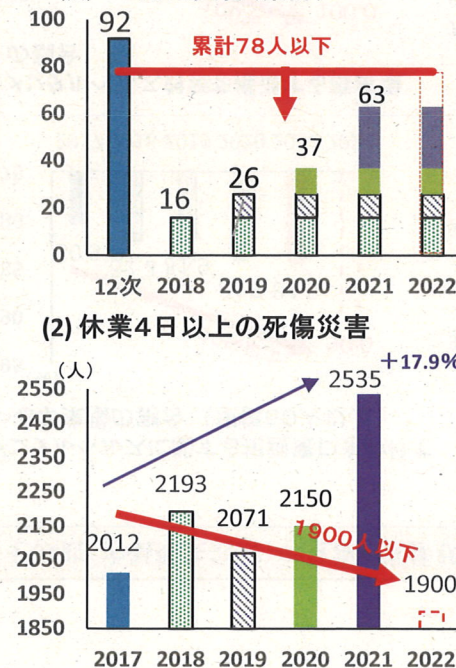
1 全体	(1) 死亡災害	2017年と比較して 2022年までに	15%以上減少 (16人以下)
		第13次累計を第12 次累計と比較して	15%以上減少 (78人以下)
	(2) 休業4日以上之死傷災害	2017年と比較して 2022年までに	5%以上減少 (1900人以下)
2 業種別	(1) 建設業 (2) 製造業 (3) 林業	第13次累計を第12 次累計と比較して	死亡災害を 15%以上減少
	(4) 陸上貨物運送事業 (5) 小売業 (6) 社会福祉施設	2017年と比較して 2022年までに	死傷年千人率 5%以上減少
3 その他(労働衛生対策)	(1) メンタルヘルスに関する相談窓 口を設けている事業場の割合(規 模50人以上)	2022年までに (2017年80.5%)	90%以上
	(2) メンタルヘルス対策を推進する事業 場の割合	2022年まで (2017年76.3%)	100%
	(3) ストレスチェックを実施する事業場 の割合(規模50人以上)	2022年までに (2016年79.3%)	90%以上
	(4) 腰痛による休業4日以上之死傷者数	第13次累計を第12 次累計と比較して	5%以上減少 (286人以下)
	(5) 職場での熱中症による休業4日以 上の死傷者数	第13次累計を第12 次累計と比較して	5%以上減少 (35人以下)
	(6) 受動喫煙対策に取り組む事業場の 割合	2022年までに (2017年91.6%)	100%

全体目標と進捗状況(2021年速報値)

(1) 死亡災害



(2) 休業4日以上之死傷災害

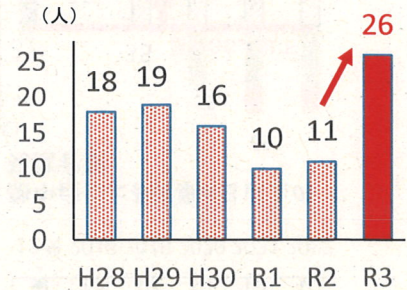


●令和4年度の目標

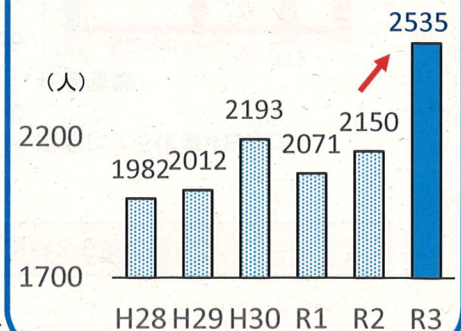
- ・死亡者数は**15人以下**
- ・休業4日以上之死傷者数は、前年と比較し、**減少させる**

●令和3年の状況(確定値)

- ・令和3年の死亡者数は26人で前年比較15名の大幅な増加

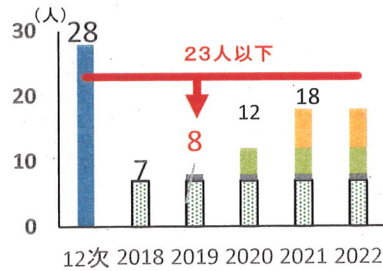


- ・休業4日以上之死傷者数は前年比較17.9%増の2535人

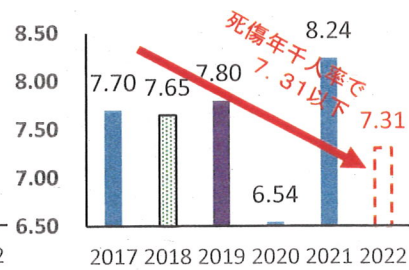


2 業種別目標と進捗状況(R3年確定値)

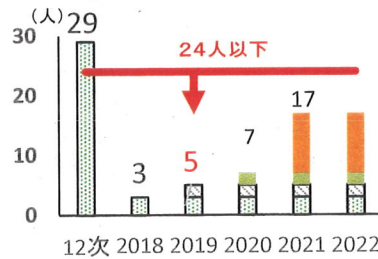
(1) 建設業 死亡災害(累計)



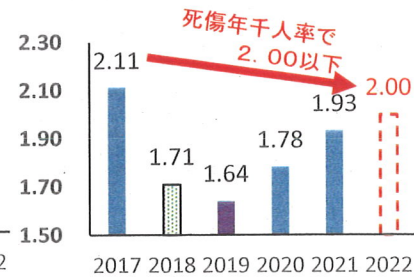
(4) 陸上貨物運送事業



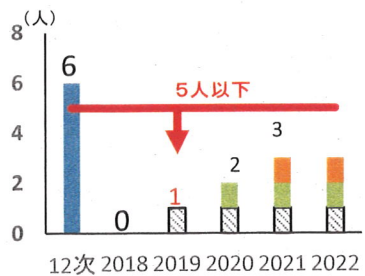
(2) 製造業 死亡災害(累計)



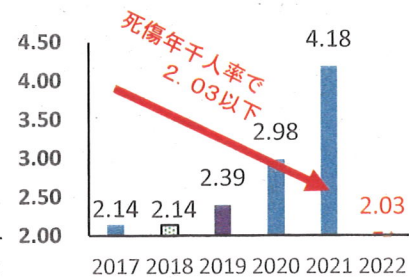
(5) 小売業



(3) 林業 死亡災害(累計)

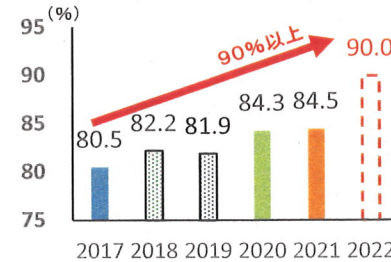


(6) 社会福祉施設

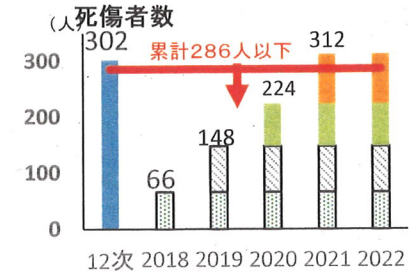


3 その他(労働衛生対策)の目標と進捗状況(R3年確定値)

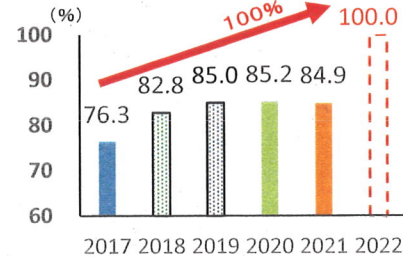
(1) メンタルヘルスに関する相談窓口を設けている事業場の割合(規模50人以上)



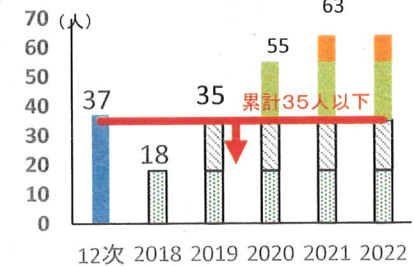
(4) 腰痛による休業4日以上の死傷者数



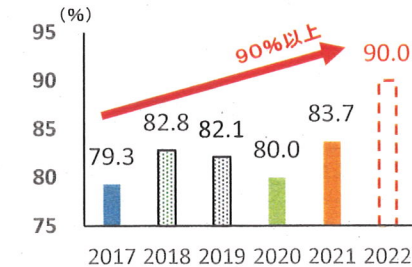
(2) メンタルヘルス対策を推進する事業場の割合



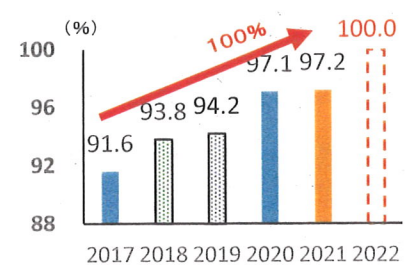
(5) 熱中症による休業4日以上の死傷者数



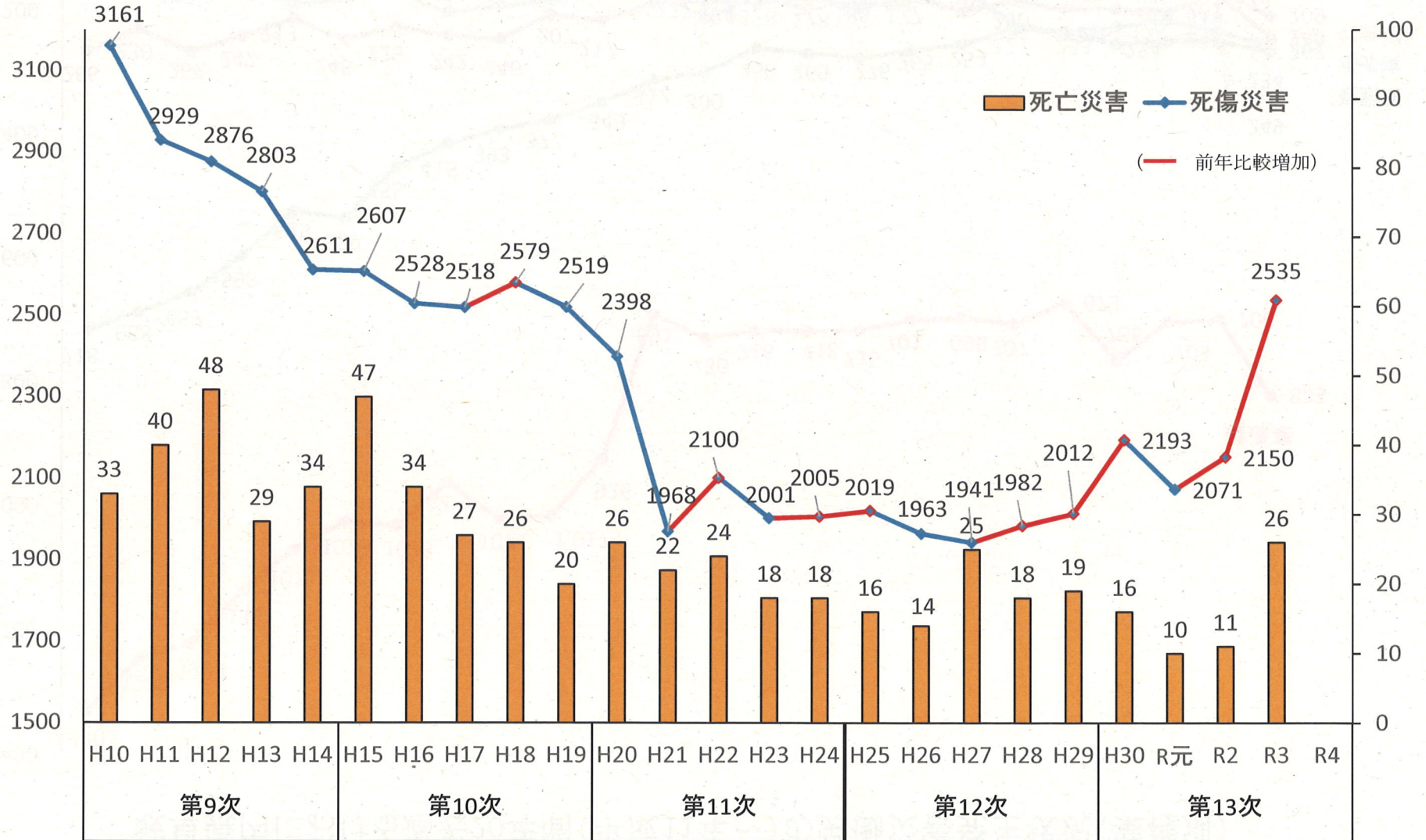
(3) ストレスチェックを実施する事業場の割合(規模50人以上)



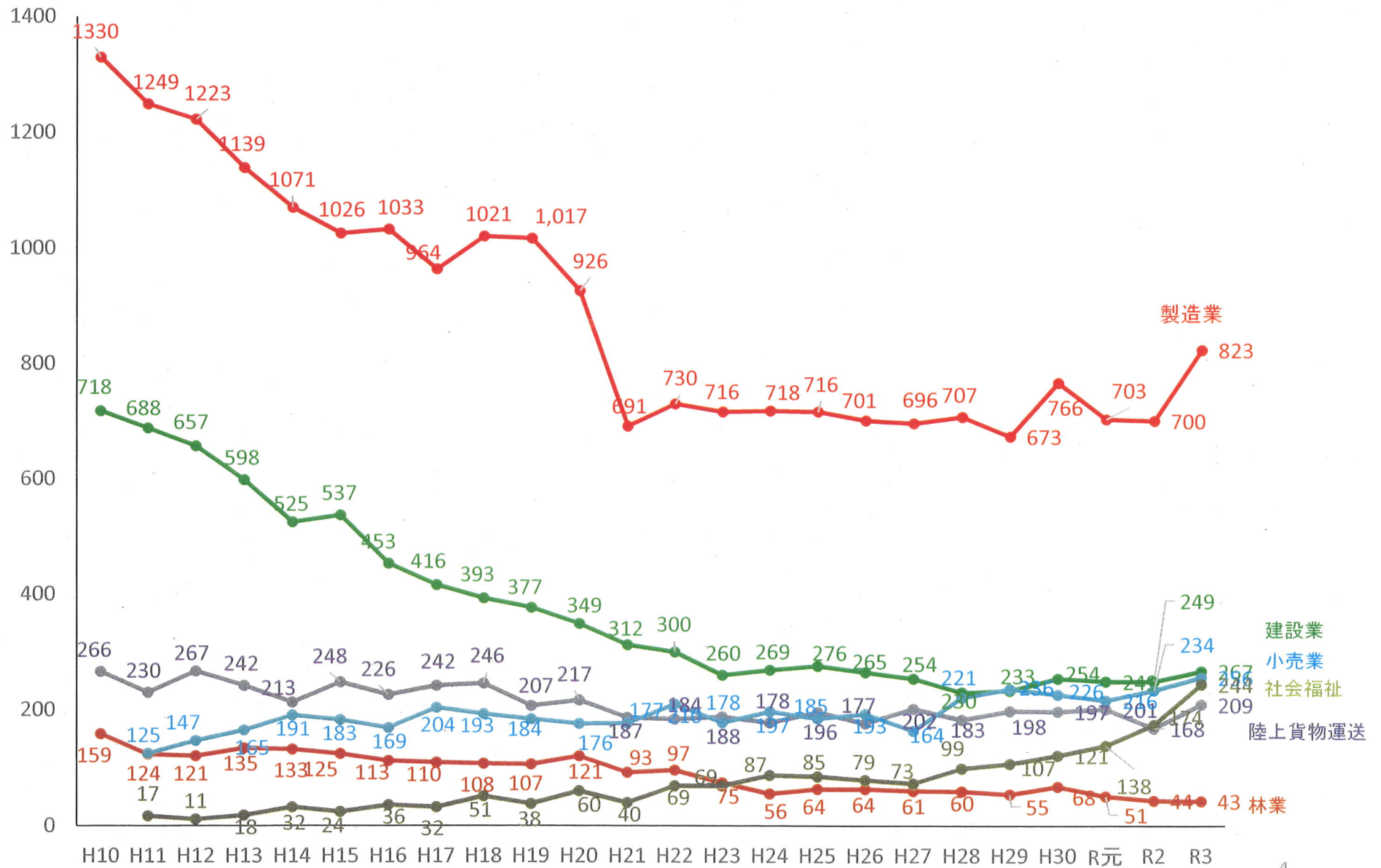
(6) 受動喫煙防止対策に取り組む事業場の割合



岐阜県内における9次防(平成10年～)からの労働災害発生状況(全産業)



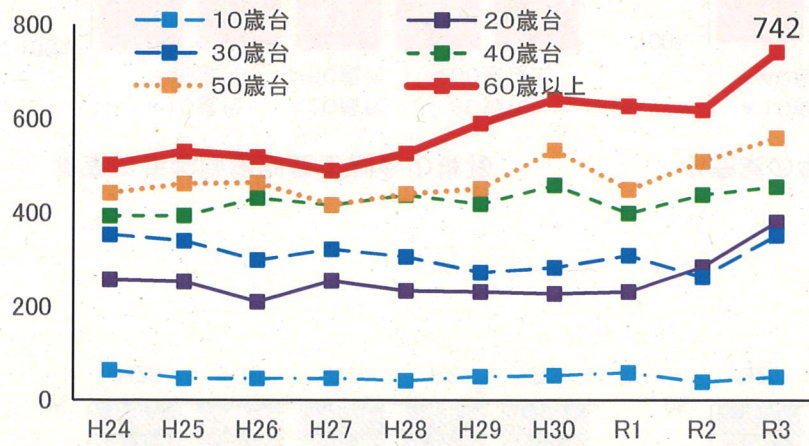
岐阜県内における過去20年間(平成11年～)の労働災害発生状況(業種別)



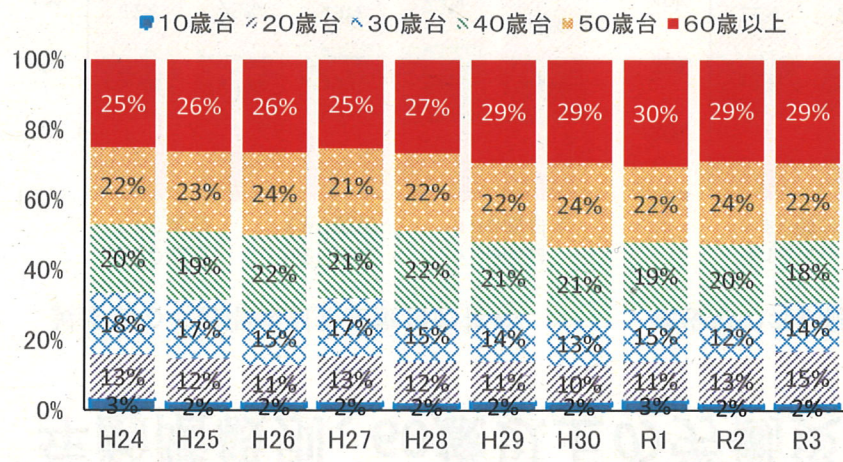
年齢階級別、60歳以上の労働災害発生状況(平成24～令和3年)①

● 高齢労働者に対する労働災害防止対策

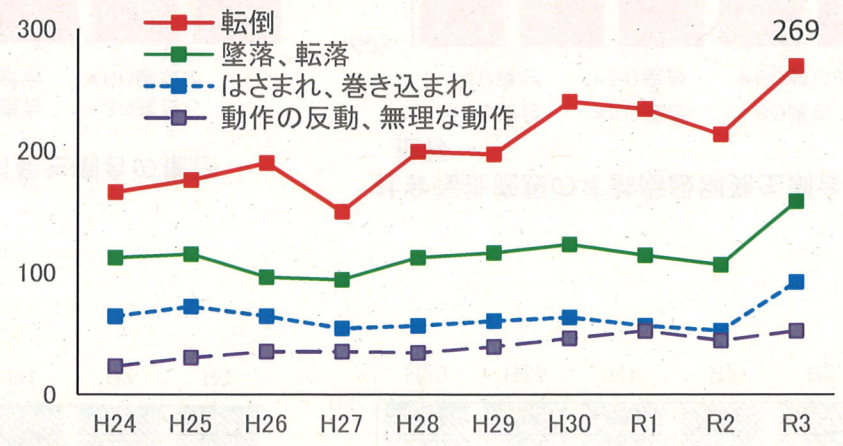
1 年齢階級別発生数の推移



2 年齢階級別の発生割合の推移



3 年齢60歳以上の被災労働者の「事故の型別」の推移



● 高齢労働者の労働災害の特徴

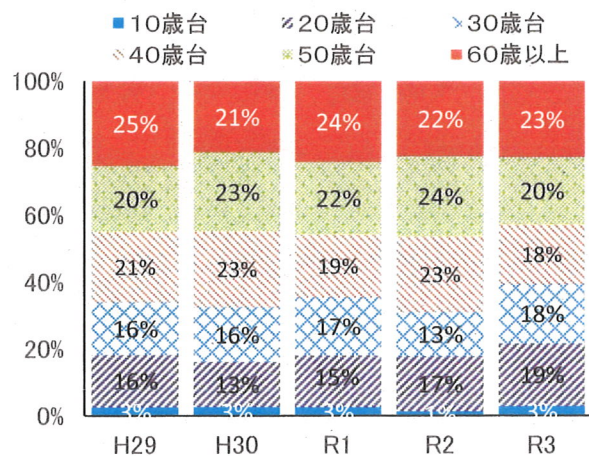
- ・60歳以上の高齢労働者の災害件数が増加しており、全体に占める割合は約3割となっている。
- ・60歳以上の被災労働者のうち、転倒災害が269人(36%)と最も多くなっており、令和2年は213人、令和3年は269人である。

● 対策

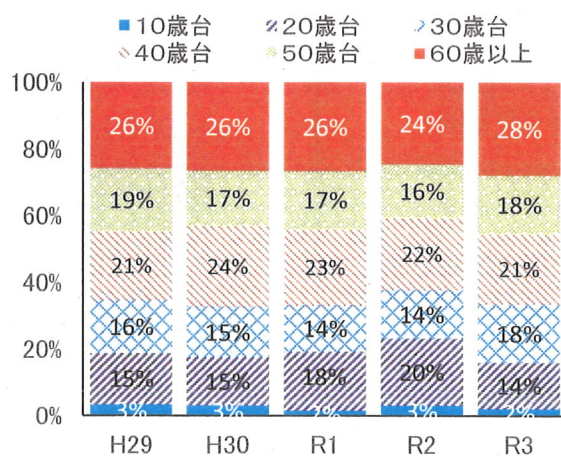
- ・エイジフレンドリーガイドラインの周知・指導
- ・「STOP!転倒災害プロジェクト」の取組

年齢階級別、60歳以上の労働災害発生状況(平成24～令和3年)②

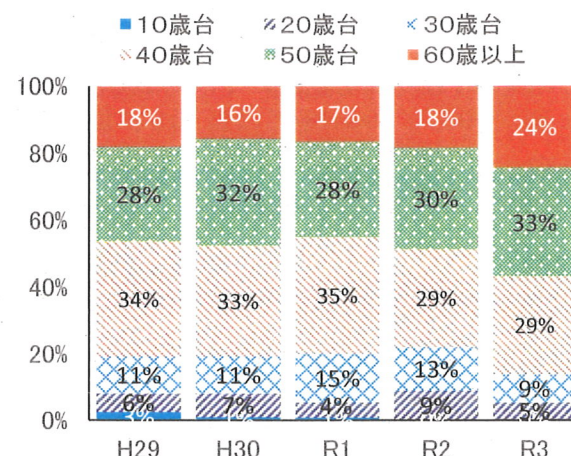
製造業の年齢階級別発生割合の推移



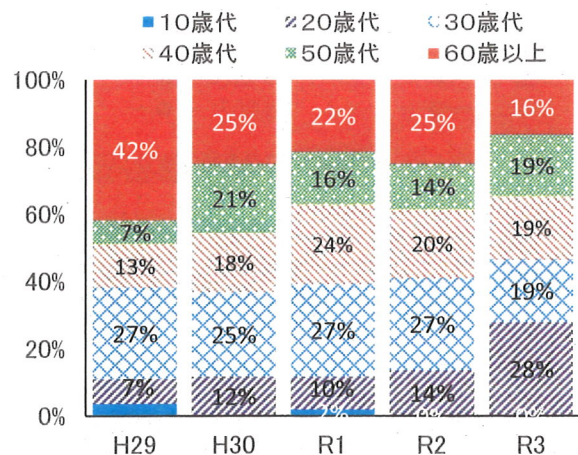
建設業の年齢階級別発生割合の推移



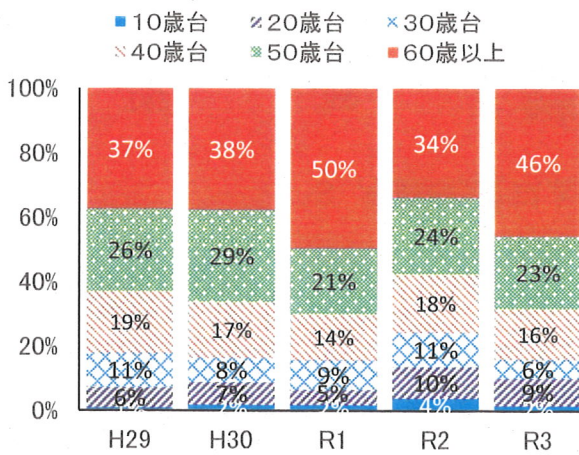
陸上貨物運送事業の年齢階級別発生割合の推移



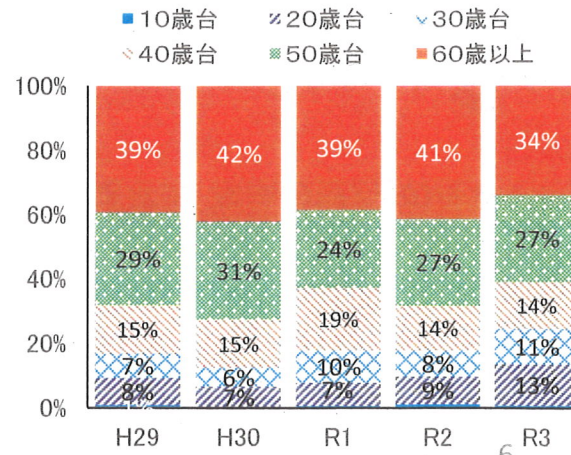
林業の年齢階級別発生割合の推移



小売業の年齢階級別発生割合の推移

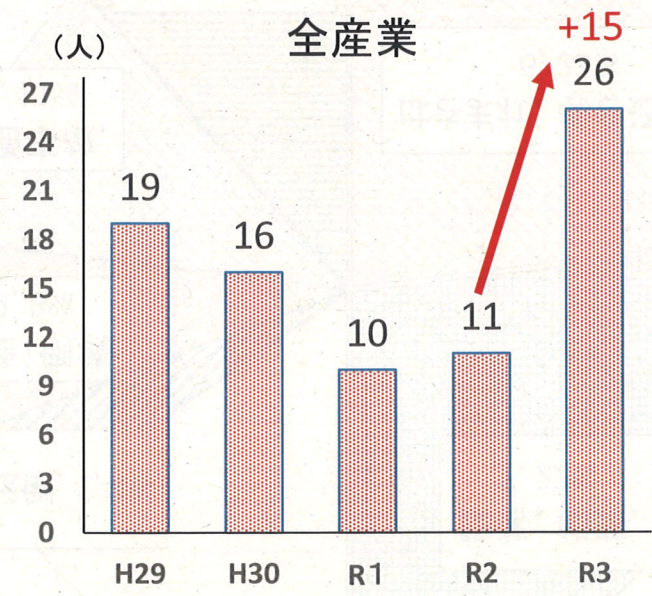


社会福祉施設の年齢階級別発生割合の推移

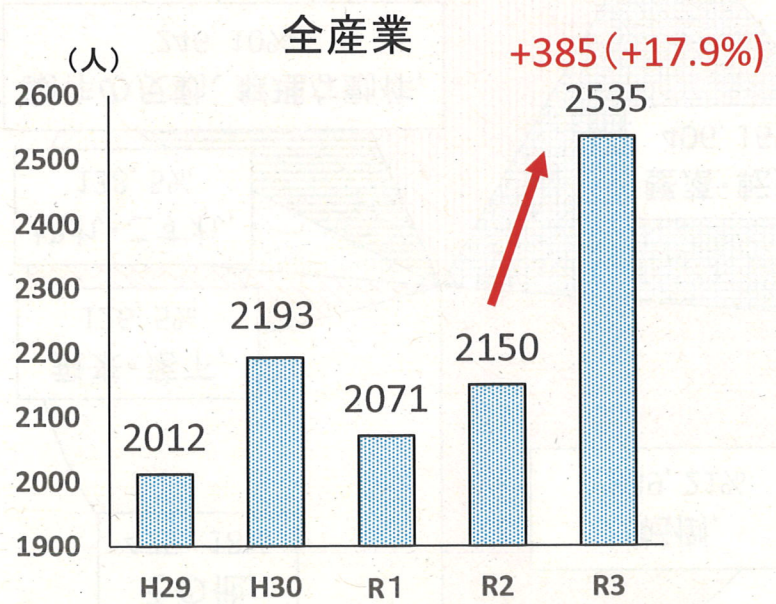


令和3年の労働災害発生状況(過去5年比較)

(1) 死亡災害



(2) 休業4日以上之死傷災害



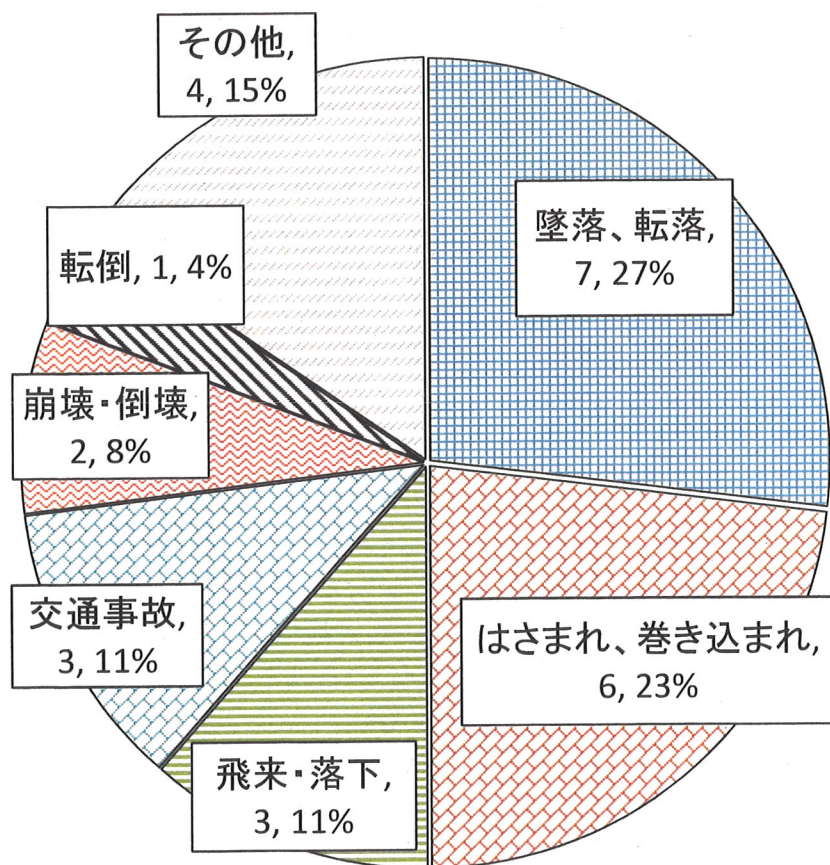
死亡災害	製造業	10人(1月:給水タンクのはしごから転落、玉掛作業中金型が落下、3月:原料投入バケット梁にはさまれ、5月:グラインダーにエプロンが巻き付き窒息、スレートな屋根を踏み抜き墜落、成型機にはさまれ、交通事故、7月:トラックの荷が崩れ下敷きとなる、8月:スレート屋根の踏み抜き、11月:伸線機にはさまれる)
(R3)	建設業	6人(1月:ドラグショベルが転倒しはさまれ、4月:コロナ罹患、6月:トラックはしごから墜落、7月:鉄骨梁から墜落、9月:コンクリート擁壁から墜落、10月:トンネル掘削面が肌落ちし下敷きとなる、)
	運送業	3人(1月:凍結路面で転倒、2月:交通事故、7月:玉掛作業中に荷にはさまれる、)
	林業	1人(4月:枝打ち作業中に転落)
	商業等	4人(4月、5月:コロナ罹患、8月:交通事故、8月:コロナ罹患)
	その他	2人(9月:スクリーコンベアに巻き込まれる、11月:フレコンバックが落下し下敷きとなる)

※データ:休業4日以上之労働者死傷病報告

令和3年事故の型別労働災害発生状況（岐阜県：確定値）

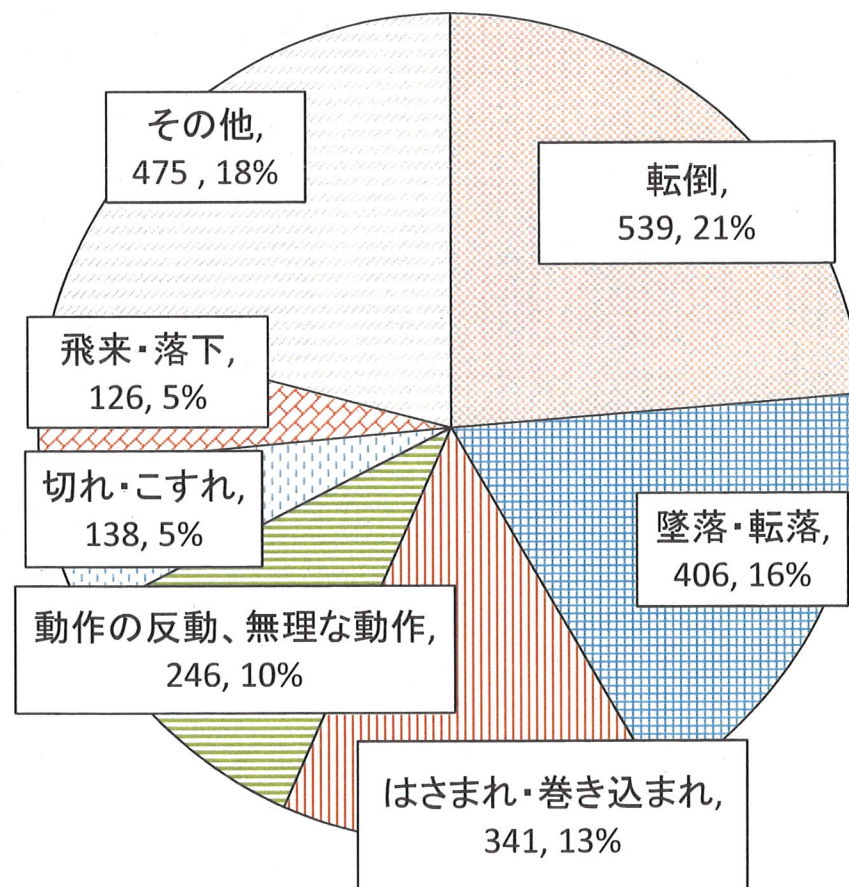
死亡災害

26人、前年同期比 +15



休業4日以上の死傷災害

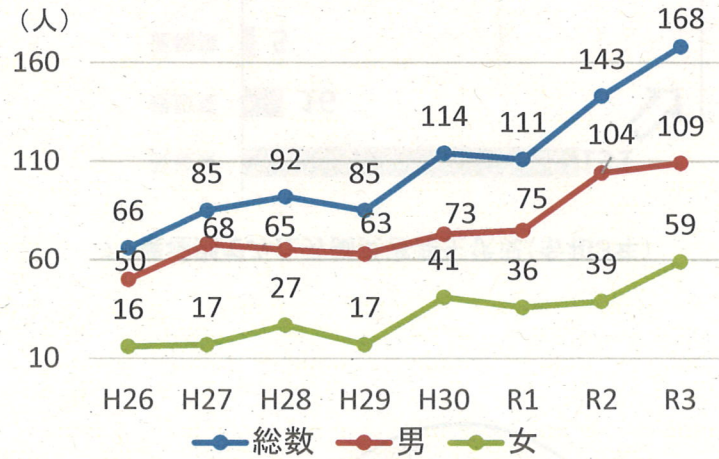
2,535人、前年同期比 +17.9%



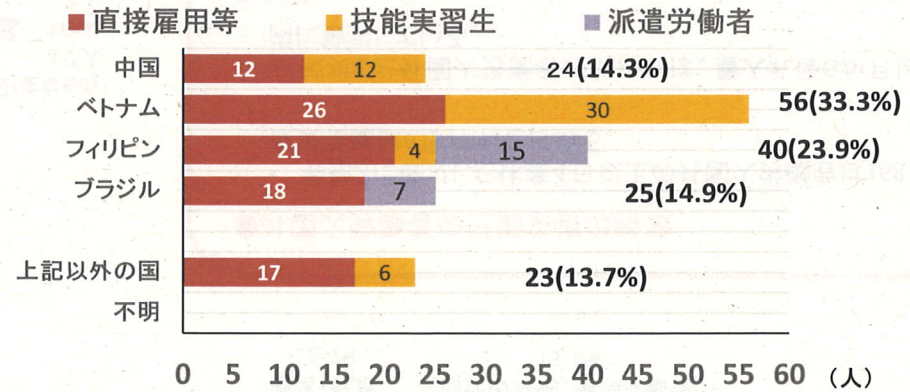
県内における外国人労働者の労働災害発生状況(令和3年確定値)①

●外国人労働者の労働災害防止対策

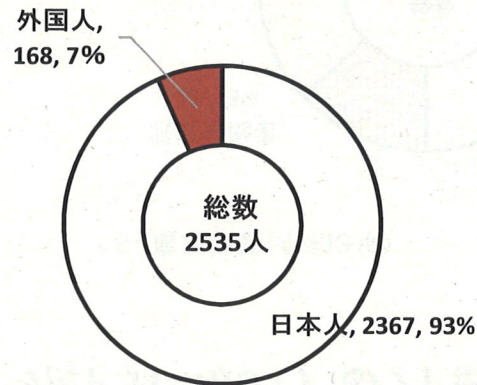
1 外国人労働者の労働災害発生の推移



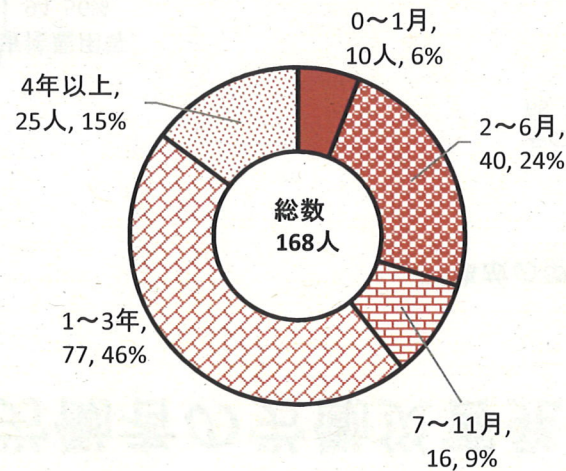
2 国籍別発生状況(令和3年)



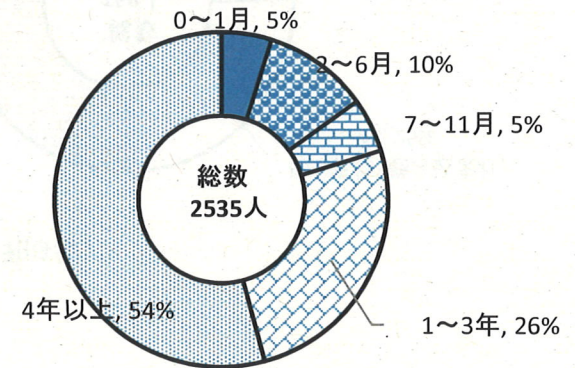
3 労働災害全体からみた外国人労働者の占める割合(令和3年)



4 作業の経験期間(令和3年)

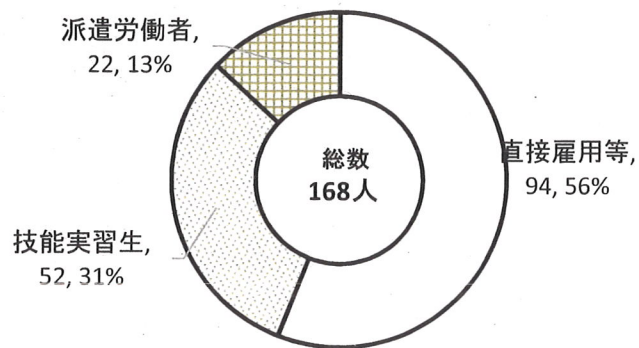


(参考) 作業の経験期間(令和3年 県内総数)

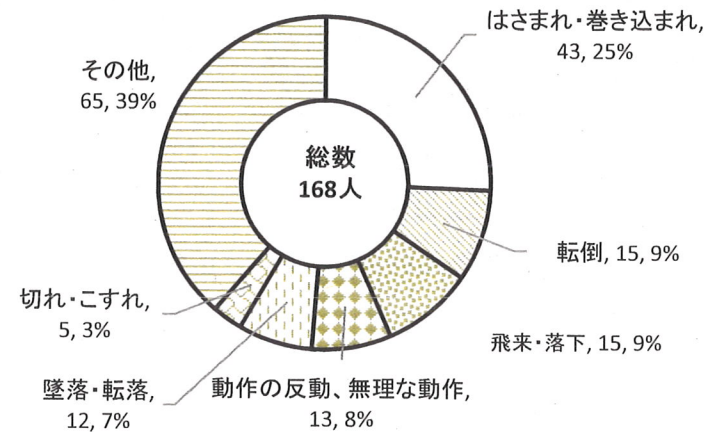


県内における外国人労働者の労働災害発生状況(令和3年確定値)②

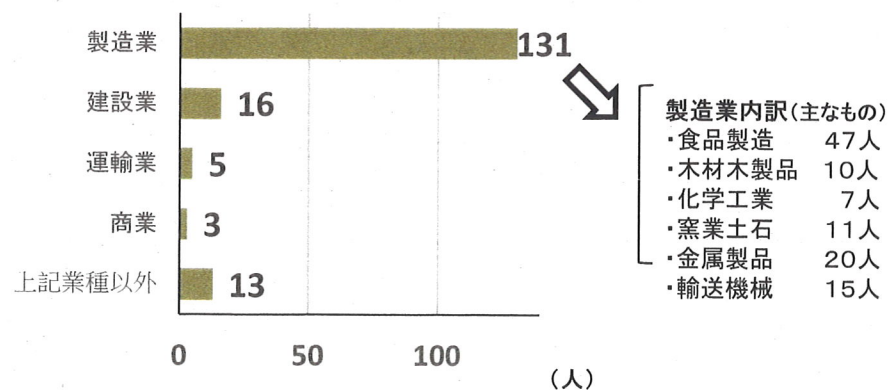
5 雇用形態(令和3年)



6 事故の型別(令和3年)



7 業種別でみた労働災害発生状況(令和3年)



●外国人労働者の労働災害の特徴

- 令和3年に被災した休業4日以上外国人労働者は168人で、被災者総数の約7%を占める。

- 被災した外国人労働者の約25%は、雇入れ後6か月以内に被災している。

●対策

- 雇入れ時の安全衛生教育は、母国語のテキスト等を使用し、理解しやすい方法で実施する。

- 機械設備には、母国語で注意表示も行う等、わかりやすい工夫をする。